

マイクロソフトの知られざる実態

『わたしは 電子の歌をうたう』

フリーランスライターがマイクロソフト社のマルチメディアタイトルを開発するチームとともに過ごした1年を綴ったノンフィクション。マイクロソフト社に対するイメージを一変させる内容と本のカバーにあるのだが、読んでみるとイメージどおりの感じがした。しかし、開発メンバーは冷徹なエンジニアばかりだろうと思っているなら読んでみるといいだろう。マイクロソフトの製品はオペレーティングシステム、表計算ソフト、ワープロなどの分野で圧倒

的なシェアを誇り、会社そのものが、かつての汎用コンピュータ界のIBMに匹敵する巨人にたとえられている。そこで生み出される製品がどのように開発されていったのかを克明に描いている。そこには経営陣と、マイクロソフトであるがゆえに課せられたクオリティーを実現しなくてはならない現場の開発メンバーと経営陣との対立や葛藤があ

る。会長ビル・ゲイツが出席する会議のシーンが何度も出てくるのだが、読んでいるほうも会議に出席する開発責任者と同じで胃が痛くなるような感じがする。胃の弱い人には勧められない本だが、それほど現場に密着して描かれているということだ。であるから、感情移入して読むうちに、会社で自分の上司に嫌気がさすごとく、ビル・ゲイツのイメージを落とすかも。



フレッド・ムーディ 著
広瀬順弘 訳
早川書房 発行
477頁
本体2524円+税
ISBN4-15-208062-0



ネットワークからは見えない現実

菊地宏明 Hiroaki Kikuchi

小説と写真が一冊に

『やがてヒトに 与えられた時が満ちて』

短編SF小説と写真のコラポレーションというべき本。小説のイメージを追



池澤夏樹 著
普後均 写真
河出書房新社 発行
157頁
本体1942円+税
ISBN4-309-01112-8

うだけの写真でなく、写真を説明する小説でもない。それが完結していて、互いを高め合うようになっている不思議な本だ。小説にはインターネットを思わせるようなネットワーク「インフォ・ネット」が出てくるが、漠然としたイメージのまま話は進んでいき、状況を説明する小道具程度に扱われている。話としては展

開が少なく、面白味に欠けるが、気怠さを感じながら雰囲気を楽しむにはよい。なぜか、読んでいるあいだ中、映画「2001年宇宙の旅」で宇宙船の中をランニングする宇宙飛行士の映像が頭から離れず、何となく同じ感覚が味わえた。この本の気に入ったところは写真と装幀。写真は風景や静物なのであるが、未来的で硬質で心地よい冷たさを持っている。火照った額を大理石に当てているときの感じに似ている。装幀もいい。ページの脇に縦に入った章題はおもしろいな、読みやすい行間だなと、読んでると本文以外に目が行ってしまう。私のような素人がDTPソフトなんかを使っているから気になるのだけれど、内容よりも興味を惹かれた。まずは手にとってほしい。

オルタナティブ・カルチャー辞典

『オルタ・カルチャー』

原題の「alt.culture」からまっ先に想像したのが、インターネットの情報源であり、巨大なゴミ箱としても知られるネットニュースだった。インターネットでの玉石混淆の情報掲示板ネットニュースには同名のニュースグループもあり、種々雑多な情報が飛びかかって独自の文化を創っている。この本の腰巻きの「インターネットイエローページ」に惹かれて手に取ったが、想像していたものとはかなり違う本であることがすぐにわかった。本書は、アルファベット順に並べられた項目にURLやUSENETのニュースグループ名が表記されているものの、他のイエローページ関連書籍とは大きく異なっている。というの

も、ニュースグループを紹介するのではなく、米国で起こっているオルタナティブ（傍流）カルチャーそのものの事典になっているのだ。つまり、ニュースやWWWページを読んでいるうちに出てきた用語や人名を調べるには重宝する。内容は、かなり突っ込んで書かれているため、万人向きではない。たとえば、シャープのザウルスやAppleのNewtonなどを指すPDA（Personal Digital Assistant）の説明では“映画『スタートレック』に登場する「トリコーダー」に似ている”とある。いったい誰がトリコーダーを知っているのだろうか。



スティーブ・デイリー、ナサニエル・ワイズ 編
吉岡正晴 日本語監修
リポポート 発行
558頁
本体2800円+税
ISBN4-8457-1118-4

アジアで一旗揚げるには

『インターネットで掴め！ アジアの商運』

アジアでビジネスをする人に贈るインターネット活用ガイド。起業家、投資家にインターネットで入手可能なアジアの情報を紹介する。経済、株式、住宅、人材、信用調査などのビジネス情報をWWWページやメールリストを使って入手する例が載っている。アジアの各国のコンテンツもインターナショナルに情報を提供しているものなら大抵は英語で書かれているようなのだが、一部のコンテンツは中国語やハングルなどの文字コードで書かれている。当然通常のパソコン環境は英語と日

本語程度しか扱えないので、これらのコンテンツは意味不明な表示となる。アジアでのビジネスを考える人ならば、マルチリンガルな環境でアクセスする方法を知りたいはずだが、本書ではそれにはふれてない。ビジネス中級、インターネット初級の上程度が対象となるのだから、Windowsで中国語を表示させる方法や、マッキントッシュでハングルを扱うKoreanランゲージキットなどの入手方法などが書かれてあると便利だろう。さらに、この本で一番困ったのが縦組のURLの表記で、かなり読みにくく間違える。最初、縦に書かれたコロン「:」が何のこ



関根進 著
日本事業通信網 発行
214頁
本体1359円+税
ISBN4-89371-519-4

クリスチャン・ウイテマ 著
村井純 監修
WIDEプロジェクトIPv6分科会 監訳
松島栄樹 訳
ブレンティスホール出版 発行
187頁
本体2136円+税
ISBN4-88735-010-4



一步先のプロトコル解説

『IPv6 次世代インターネット・ プロトコル』

学習参考書を選ぶとき、読みやすく解りやすいのはもちろん、最後まで使い続けられる程度のボリュームがよいと学生の頃に言われたことがある。本書は、上記の3点を満たした次世代インターネット・プロトコルであるIPv6の解説書である。IPv6標準化を行ったIAB (Internet Architecture Board) の議長をつとめている著者が記したこの本は、WIDEプロジェクトの研究開発時も参考にされていたそうで、監訳には日本でインターネットの研究の場での中心的役割を果たしているWIDEプロジェクトのIPv6分科会が名

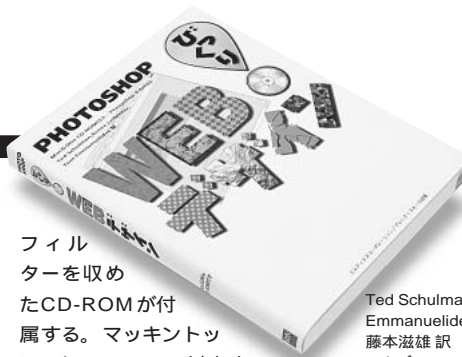
前を連ねている。IPを研究する学生や、ネットワークに携わっているプロ向きの本であるため、現在のTCP/IPであるバージョン4に関する知識を備えていることが前提とされている。言葉を厳選し、無駄なく書かれているからこそ、コンパクトなボリュームにまとまっている。話は変わるが、次世代IPに関するいくつかの提案を耳にしたことがある人もいよう。その中にIP version 7があるが、IPv6の次のバージョンだと思っている人も多い。この疑問に答えてくれるIPv6決定の経緯をはじめ、いまだ議論が続いている点を各章で「論点」としてまとめるなど、次世代技術を斜め読みするのにも便利である。

グラフィカルなWEBをつくらう！

『PHOTOSHOP びっくりWEBデザイン』

ドロー系グラフィックソフトを使おうが、3Dレンダリングソフトを使おうが、はたまたデジタルカメラで撮影した画像を使おうが、デザインワークの仕上げにフォトタッチソフトを使うのは、今や常識である。質の高いWWWのホームページはフォトタッチソフトを活用し、効果的な演出を施した画像を使っている。本書は、フォトタッチソフトの定番

Photoshopのバージョン4.0Jを使って、WWWのコンテンツで使われる各種デザインの作り方を解説している。目次自体が、解説するデザインの見本になっており、実用重視の本であることが一目で解るだろう。Photoshopの基礎解説に始まり、背景パターンの作成、タイトル画像、アイコン作成、飾り罫やボタンデザイン、メニュー/タブ、アニメーションと解説される。フルカラーで効果が解りやすいうえ、データ画像やツール、フォント、



フィルターを収めたCD-ROMが付属する。マッキントッシュとWindowsに対応するが、Windowsに関しては、出版時に4.0Jがリリースされてなかったので英語版での確認となっている。Photoshop初心者が見ても作れそうなレベルで解説されているため、ホームページ作成を始める人はぜひそろえておきたい。

Ted Schulman, Renee LeWinter, Tom Emmanuelides 著
藤本滋雄 訳
エムディエヌコーポレーション 発行
271頁
本体3864円+税
ISBN4-8443-5445-0



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp